

ほとけさまのお話

お西さんの法話

毎日(11:00)／御影堂 15分1席 ※配信なし

YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」



晨朝<朝のお勤め>

毎朝(6:00)／阿弥陀堂・御影堂 ▶LIVE

お西さんの土曜法話

土曜日(17:00)／総会所 40分1席 ▶LIVE

YouTubeチャンネル「お西さんの常例布教」



昼座 毎日(14:00)／総会所 30分2席 ▶LIVE

※参加無料。また、各法座は状況により中止又は時間・会場等変更する場合がございます。

▶YouTubeによるお聴聞ができます

毎日の常例布教・昼座とお西さんの土曜法話をYouTubeにて▶LIVE配信しています。また、過去の法話(アーカイブ*)も公開中です。上記チャンネルから、いつでもどこでもお聴聞いただけます。* (アーカイブ配信)は原則として後日6ヵ月間公開予定(諸事情により公開されない場合もございます)。



今年も

「お西さんの奉仕団

～半日バージョン～」やります!

本願寺の清掃奉仕を通して、宗祖親鸞聖人のみ教えや本願寺の歴史にふれてみませんか。



開催日 2023年10月20日(金)
11月 8日(水)
12月 9日(土)

時間 14時～16時30分

内容 ●清掃奉仕(御影堂・阿弥陀堂他境内地)
●書院拝観(お抹茶付き) ●法話

定員 50名(お一人様からご参加できます)

参加懇志 1名につき3,000円

受付方法 予約受付中!

開催1週間前までに
参拝教化部 奉仕団係へお電話、
または直接お申し込みください。

詳しくは、参拝教化部 奉仕団係まで。

—京都・西本願寺— 秋の行事と法座のご案内

2023(令和5)年

10・11・12月

お西さんへ 行こう。

Autumn

献菊展第70回
を記念とした
展示を行います



MAP & ACCESS



(JR・近鉄 京都駅より)

○徒歩約15分 ○タクシー約5分

◆市バス9・28・75・急行111『西本願寺前』降車

◆京阪バス311・312

『西本願寺(間法会館前)』または『西本願寺前』降車

(大谷本廟よりお越しの方は『五条坂』からご乗車ください。)

(阪急電車利用の場合)

京都河原町駅／烏丸駅◆市バス207(四条大宮・東寺方面行)

大宮駅◆市バス206(京都駅方面行),18・71・207(東寺方面行)

いずれも『島原口』降車

(京阪電車利用の場合)

七条駅◆市バス206・208(京都駅方面行)『七条堀川』降車



アクセスは
こちら



りゅうこくざん 龍谷山 本願寺 (西本願寺)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

TEL (075)371-5181(代)

https://www.hongwanji.kyoto

(通年)開門5:30 閉門17:00

※法要期間中例外あり



Free Wi-Fi SSID:Wi2_free

お西さん(西本願寺)公式X(旧Twitter)

@nishi_hongwanji



ご参拝
される方へ

本願寺ではSDGsの取り組み、地球温暖化対策の一環として令和4年4月1日より、ビニール製靴袋の配布を止めました。ご参拝の際には靴袋をご持参いただくか、龍虎殿入口の靴箱をご利用ください。

りゅうこくえ 龍谷会

おたにほんびょうほうおんこう ほうよう
(大谷本廟報恩講法要)

10月15日(日)・16日(月)

詳しくは
こちら▶



親鸞聖人御誕生850年 慶讃 第70回 立教開宗800年 本願寺献菊展

10月16日(月)～11月23日(木・祝)

本願寺献菊展は、「全国門徒総追悼法要(秋の法要)」に際し、京都菊栄会より献花される菊花をもって、本願寺の白洲境内地に展示しており、今年は第70回目の記念開催を迎えます。

*詳細は中面をご覧ください。



菊花は、つぼみの状態から展示いたします。見頃は、10月下旬頃からです。

あき 秋の法要

ぜんこくもんとうそうついでほうよう
—全国門徒総追悼法要—

11月22日(水)
23日(木・祝)

10時30分 本願寺阿弥陀堂 ▶LIVE

▶LIVE YouTubeチャンネル「お西さんの法要行事」でLIVE配信予定

すすはら お煤払い

12月20日(水) 7時頃

にちようこうえん 日曜講演

様々な分野のお話を聞いてみませんか?

10月29日・11月26日・12月24日



講師詳細は、
随時HPにて
更新いたします



毎月16日は Shinran's Day 親鸞聖人の日

本願寺では、親鸞聖人のご命日である毎月16日を「Shinran's Day」とし、法要やイベントを行っています。



Shinran's Day

参加者10万人を達成!!

「お西のお坊さん」による境内案内 お西さんを知ろう!

1日4回 案内時間各30分
1回目 10:00~ 2回目 11:30~
3回目 13:45~ 4回目 15:30~



お西さんを知ろう!

集合場所:お茶所(総合案内所)

“お西のお坊さん”が、境内各所をご案内いたします。参加希望の方は、案内時間までにお茶所へお越しください。(予約不要・参加無料)

ご参加いただいた方には…

オリジナルカードです。(非売品)

024Card 全24種 1枚をプレゼント!

デザインが新しくなりました!

何がもらえるかはお楽しみ!

京都きものパスポート

本願寺では着物を着て、「お西さんを知ろう!」及び「Shinran's Day・書院特別案内」に参加された方へ、特典として記念品を進呈します。

期間:10月1日(日)~12月25日(月)まで

着物着用の上、「お西さんを知ろう!」参加の方はお茶所(総合案内所)、「Shinran's Day」参加の方は龍虎殿受付にて、「京都きものパスポート」特典画面(スマートフォン)を呈示いただくと特典を進呈いたします。

詳細・お問い合わせはこちらより



境内散策をしよう!

両堂・書院を中心とする境内地一帯が、1994(平成6)年12月にユネスコ世界文化遺産に登録された本願寺の境内地。秋ならではの、雰囲気のある境内を散策してみませんか? ※本願寺の僧侶が境内地を案内するツアーもあります。詳細は左側「お西さんを知ろう!」をご覧ください。

2 唐門

黒漆塗りに彩色彫刻が施され、眺めていると日が暮れるというたとえから日暮門(ひぐらしもん)とも呼ばれています。国宝。



3 書院

桃山時代に発達した豪華な書院造の様式の代表的なもので、様々なお部屋、能舞台があります。通常非公開ですが、毎月16日のShinran's Dayでは、特別案内を行っています。



特別案内の詳細は左上QRコードよりご確認ください

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃 第70回 本願寺献菊展

10月16日(月)~11月23日(木・祝) 午前5時30分(開門)~午後5時(閉門) 展示場所 本願寺(西本願寺) 白洲境内地 ※展示内容によって日程・展示場所は異なります。

花壇の部

10月16日(月)~11月23日(木・祝) 展示場所: 白洲境内地

切花の部

11月7日(火)~11月12日(日) 展示場所: 御影堂・阿彌陀堂をつなぐ渡り廊下

慶讃法要及び第70回を記念とした展示

11月7日(火)~11月23日(木・祝) 展示場所: 白洲境内地各所

献菊展に併せて、境内ではいろいろな催しも予定しています。

4 経蔵

『大蔵経(一切経)』が収められており、天台僧正の開版されたもので、1635(寛永12)年、江戸の寛永寺で発起し、12カ年をかけて完成しました。



5 太鼓楼

境内東北角、時を告げる大太鼓を置く楼閣建築物。幕末には新選組の拠点となりました。重要文化財。



8 阿彌陀堂門

檜皮葺の屋根、側面には花の透かし彫と金色の装飾金具、柱下部には龍の装飾が施された重要文化財。



6 大銀杏

御影堂前に根を下ろす本願寺のシンボル・大銀杏の樹齢は約400年。京都市の天然記念物に指定されています。



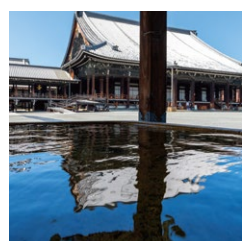
7 御影堂門

瓦葺きの屋根、くぐると正面にある「目隠堀」、堀川通を挟み門前町へ続く「総門」とともに重要文化財。



9 手水舎

破風板には銚金具を付けており、四周を開放し花崗岩の四半敷で中央に石製の井戸と水盤を据えています。2010(平成22)年に修復されました。



10 総門

現在地までに三度移築されました。1959(昭和34)年に交通量の増加に伴い堀川通りの拡張が計画され、京都市の要請で現在地に移転しました。



11 本願寺伝道院

1912(明治45)年伊東忠太氏の設計によって建てられた洋風建築物。周囲の石柱も含め重要文化財。



本願寺の歴史、親鸞聖人のご生涯について



本願寺は、浄土真宗本願寺派の本山で、正式には「龍谷山本願寺」といい、その所在する位置から「西本願寺」、または親しみを込めて「お西さん」とも呼ばれています。浄土真宗は、鎌倉時代の中頃、親鸞聖人(1173-1263)によって開かれました。

親鸞聖人は京都の日野でご誕生になり、9歳の時に仏門に入り20年間比叡山で修行されました。29歳の時、源空(法然)聖人のお導きにより、「南無阿彌陀仏」とお念仏申す人生を歩む身となり、35歳の時に念仏への弾圧を受け越後に流罪となりました。赦免後は関東に向かわれ、20年余りに亘り多くの民衆に念仏の教えを弘められました。その後、京都に戻られ、『教行信証』を著されるなど執筆活動にも力を注ぎ、90歳でご往生されました。

親鸞聖人のご往生後、その娘覚信尼さまと聖人を慕う人々によって、東山大谷(墓所)を建て聖人の遺骨と影像を安置し、この廟堂が本願寺の基となりました。第8代蓮如上人(1415-1499)の時にみ教えが各地に広く伝わり、第11代顕如上人(1543-1592)の時に豊臣秀吉から土地の寄進を受け、京都堀川六条へ寺基が移され、今日に至っています。

境内には阿彌陀堂、御影堂の両堂をはじめ、書院、唐門、飛雲閣など国宝や重要文化財に指定された建造物があり、1994(平成6)年12月に「古都京都の文化財」としてユネスコより世界文化遺産に登録されています。

『お西のお坊さん』季節のお便り



西本願寺お茶所にいます「お西のお坊さん」が季節にちなんだお話をお届けします。

観測史上、最も暑い夏が終わり、やっと過ごしやすい季節になりましたね。本願寺の秋の見どころといえば、何といても大銀杏です。黄色く色づいた葉は美しく、大きく広がった枝に樹齢400年の力強さを感じます。大銀杏を見上げながら、ふとこの大銀杏を支えるものについて思いを巡らします。太い幹、深く張った根、そのすべてを包み込み、しっかりと支え続けた大地がありました。

どんなときでも、私たちをまるごと支え続けてくださる大地のような仏さまが、阿彌陀さまです。本願寺で、ご一緒に「お聴聞の秋」を過ごしませんか?

